

第5学年 国語科学習指導案

指導者 亀田 貴子

1 単元名 内容を的確におさえながら読もう

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、次の「小学校学習指導要領 第5学年及び第6学年の内容」に基づいて指導するものである。

A 話すこと・聞くこと

(1) ア 考えた事や自分の意図が分かるように話の組立てを工夫しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。

B 書くこと

(1) ア 目的や意図に応じて、自分の考えを効果的に書くこと。

イ 全体を見通して、書く必要のある事柄を整理すること。

C 読むこと

(1) ア 自分の考えを広げたり深めたりするために、必要な図書資料を選んで読むこと。

エ 書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらか読むこと。

オ 必要な情報を得るために、効果的な読み方を工夫すること。

また、単元のつながり（学年間のつながり）は、次のようになっている。

4年 中心をとらえながら読もう

○文章の細かい点や段落と段落とのつながりに気を付けて、文章を読んだり、内容と関連した情報を集めたりすることによって、いろいろな種類の図書を進んで読む。

↓

5年 内容を的確におさえながら読もう

○自分の事象に対する見方やとらえ方を広げたり深めたりするために、必要な図書資料を選んで読む。

↓

6年 新しい世界を求めながら読もう

○自分の考えを広げたり深めたりするために、書かれている内容について筆者の意見をとらえ、自ら考えをもちながら読む。

5年生では、目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読むことをねらいとしている。本単元では、まず、漫画という興味・関心の高い題材を活用した説明的文章『まんがの方法』を、筆者の意見や考えに着目して読む学習を進めていく。そして、読書活動への発展として、『おもしろさのひみつをさぐろう』で類似のテーマを設定し、資料収集とその読み解き、整理、集約、発表などの活動を行っていく。

第一教材『まんがの方法』

現在、漫画は文化的価値のあるものとして、社会に受け入れられるようになった。様々な児童用図書に漫画が取り入れられ、子どもが漫画を読むことに対して柔軟な目が向けられている。子どもだけでなく大人も漫画に親しみ、漫画はおもしろさの一つとして認知されている。

この単元では、漫画を手がかりにおもしろさの方法を追究することが中心となる。漫画のおもしろさの秘密は、漫画特有の共通した表現方法にある。それを「まんがの方法」として7つの方法と

5. まんがのおもしろいところは、どんなところだと思いますか。(複数回答)
- | | |
|---------------------|------------------|
| 内容 (8名) | ボケがあるところ (5名) |
| 初めて知ることがある (2名) | おもしろくてよくわかる (2名) |
| キャラクターにユーモアがある (2名) | 会話がわかりやすい (1名) |
| 絵なのに迫力がある (1名) | ページ全部に絵がある (1名) |
6. あなたが今、興味のあることはなんですか。(複数回答)
- | | | | |
|------------|-----------|---------|--------|
| 野球 (5名) | 器械運動 (5名) | 料理 (3名) | 本 (2名) |
| 漫画を描く (2名) | ゲーム (2名) | 犬 (2名) | |
7. また、それについていろいろ調べるとしたら、どんな方法で調べますか。(複数回答)
- | | | | |
|---------------|---------|-----------|--------------|
| インターネット (10名) | 本 (6名) | パソコン (3名) | 図鑑 (2名) |
| 図書館 (1名) | CM (1名) | ニュース (1名) | お母さんに聞く (1名) |

② アンケート結果の考察

授業中の発表について、半数以上の児童が「できる」と答えているが、実際は進んで発表する児童はそれほど多くない。自分の考えがまとまっても、自信がないのか進んで手を挙げる児童は少ない。指名されて発言することはできるので、そうしたことで「できる」と考えているように思われる。自分の考えや思ったことを書くことについては、多くの児童が「書ける」と答えている。授業中の様子からも、ノートに自分の考えや感想などをしっかりとまとめられる児童が多い。

漫画のおもしろいところについては、『まんがの方法』で筆者がいうとおり理屈はない。「内容」がおもしろいから、児童は漫画が好きなのである。それでも、「会話がわかりやすい」「迫力がある」「絵」など、「まんがの方法」に迫るキーワードともとれることにも触れている。

何かを調べる方法として、大多数の児童がインターネットをあげた。インターネットが児童の生活の中に浸透していることがうかがえる。また、本も児童の情報源の一つとなっている。

(3) 指導観

本単元では、児童の興味・関心の高い漫画をきっかけに、説明文を読む楽しさや事実を知るおもしろさを味わってほしいと願っている。『まんがの方法』は、漫画の「おもしろさ」を生み出す方法を説明した文章である。「まんがの方法」と「効果」について解説しているが、単なる読み取りの学習で終わらせたくない。自分の好きな漫画を分析したり、おもしろさの追究をしたりするなど、児童が主体的に学習に取り組み、書かれている内容について自分の意見を持ったり、さらに考えを広げたりしていくようにしたい。『おもしろさのひみつをさぐろう』では、テーマに即した資料や情報の収集、読み解きや発表など、総合的な学習活動に取り組みさせていく。自分の考えを持ち、さらに課題に向かって追究していこうとする児童の姿を期待している。

導入を大切にす

導入の段階で、児童が日頃から親しんでいる漫画を持ち寄らせる。自分が好きな漫画のおもしろいと思っている理由を話し合うことで、児童の学習の意欲を喚起させる。おそらく、ストーリーのおもしろさについて話す児童が多いと思われるが、筆者がこれから説明しようとしている表現方法の特徴なども引き出して、それらに着目させていくようにする。そこから、なぜおもしろいのか、おもしろさの秘密はどんなところにあるのかという、本単元の「おもしろさの追究」という問題意識を持たせていく。「まんが」という言葉だけでも児童に読みの刺激が与えられるが、この話し合う活動を設定することで、児童がより主体的に学習に取り組んでいくと考える。

ワークシートを活用する

ここでは、まんがの「おもしろさ」を生み出している「まんがの方法」が、どのような「効果」を持っているのかを読み取る活動を進めていく。その際には、まとめやすいようにワークシートを活用する。「方法」に関するキーワードを見付けさせて、ワークシートに簡潔にまとめさせるようにする。ワークシートにまとめたことを振り返って、筆者のいう七つの「方法」と「効果」について感想や自分の考え、意見を持てるようにしていく。

漫画作品の例や例示の絵を活用する

筆者のいう「まんがの方法」がどのような「おもしろさ」を生み出す「効果」をもっているかを、漫画作品の例や例示の絵と照らし合わせて、文章を読んでいくようにする。作品の中で使われている「方法」を、具体的に作品例を見て確認することで、筆者の考える「まんがの方法」をよりいっそう理解することができるだろう。「方法」の使われている部分がどこか、作品例を丸で囲む、矢印で示す、付箋紙をつけるなどしてわかるようにしていく。

「まんがの方法」を説明する文を書く

読みのまとめとして、自分の好きな漫画作品の「まんがの方法」について説明する文を書く。自分の好きな漫画作品はなぜおもしろいのか、どんな「方法」でどのような「効果」をもたらしているのか関連付けて説明するようにする。児童の書いた文は一枚文集にまとめ、みんなで読み合う。いろいろな「まんがの方法」をみんなで見つけたという満足感を味わわせたい。

グループ学習を取り入れる

『おもしろさのひみつをさぐる』では、資料収集、調査、発表などの活動をグループで進めさせたい。資料収集や調査活動を共同で行う、資料を多角的に読み取るなど、個人では大変な作業を分担したり、一人ではわからなかったことに気付いたりできるなどグループ学習のよさがある。なお、その際には活動が友達まかせにならないように、一人一人が責任を持って取り組めるように配慮したい。

3 指導目標

【単元の目標】

- 『まんがの方法』を筆者の意見や考えに着目し、自分の考えを明確にしながらかく。
- 「身近にあるおもしろさのひみつ」をテーマに、関連するさまざまな資料を集め、必要な情報をまとめて発表する。

【観点別目標】

<関心・意欲・態度>

- 「まんがのおもしろさ」に興味を持ち、意欲的に読もうとする。
- テーマを決め、進んで関連する資料を集めようとする。

<話すこと・聞くこと>

- 調べたことについて要点をおさえ、わかりやすく発表することができる。

<書くこと>

- 文章を読んで、自分の考えた「まんがの方法」について説明する文を書くことができる。
- 必要な事柄を収集・整理して、発表資料を作ることができる。

<読むこと>

- 文章の内容を要点をとらえながら、筆者の言いたいことを的確に読み取ることができる。
- テーマに合った資料から、必要な事柄を読み取ることができる。

<言語事項>

- 「 」や（ ）などの記号の働きについて理解することができる。

4 指導計画（14時間扱い）

第一教材『まんがの方法』

時間	学習活動と内容	教師の支援（・） 評価規準（☆）
1	<p>○単元の目標と学習活動を知り、学習の見通しを持つ。</p> <p>○これまでに読んだ漫画について、どこがおもしろいかについて話し合う。</p>	<p>・教材名から学習の内容を想像するとともに、「おもしろさ」への興味を持たせ、学習への意欲付けをする。</p> <p>・自分の好きな漫画を持ち寄り、どのような点がおもしろかったのか自由に発表させる。</p> <p>☆学習の見通しがわかり、おもしろさを追究していこうとする意欲を持てたか。（関心：発表）</p>
2 3	<p>○全文を読み、筆者の「まんがの方法」に関する考え方や定義について確認する。</p> <p>・ ○筆者の考える七つの「まんがの方法」を書き出す。</p>	<p>・段落のまとめりや漫画の作品例と照らし合わせながら、文章を読んでいくようにする。</p> <p>・本文から「まんがの方法」に関するキーワードを見付け、サイドラインを引かせる。</p> <p>☆筆者のいう「まんがの方法」をとらえることができたか。（読む：発表・書き込み）</p>
4 5	<p>○七つの「まんがの方法」についてそれぞれまとめる。</p> <p>○それぞれの「まんがの方法」がどのような「効果」を生み出しているのかを、作品例をもとに分析する。</p> <p>・ ○まとめたことを話し合い、互いの気付きや考えを学び合う。</p>	<p>・ワークシートを用意し、「まんがの方法」と「効果」をまとめやすいようにする。</p> <p>・本文から読み取った「まんがの方法」と「効果」を、作品例の該当する部分を丸で囲んだり矢印で示したりなどの書き込みをさせる。</p> <p>☆それぞれの「まんがの方法」について、作品例と比べながら、「効果」をとらえることができたか。（読む：ワークシート・発表）</p>
6	<p>○全文を読み返し、感じたことや考えたことを発表し合う。</p> <p>○文章中で用いられている「 」や（ ）の使い方や働きについて考える。</p>	<p>・ワークシートにまとめたことを作品例とともに振り返らせる。</p> <p>・「まんがの方法」について感想や自分の考えをノートにまとめ、発表させる。</p> <p>・文章中で用いられている「 」や（ ）を見付け出させる。</p> <p>☆全文を読んで、感想や自分の考えをまとめることができたか。（話す聞く：発表、書く：ノート）</p> <p>☆「 」や（ ）の使い方や働きについて理解できたか。（言語：発表）</p>
7 本時	<p>○サンプルとなる漫画作品を用意し、学級全体で新たに生み出され続けている「まんがの方法」と「効果」について話し合う。</p> <p>○グループごとに漫画作品を用意し、新たに生み出され続けている「まんがの方法」と「効果」について分析する。</p> <p>○グループで話し合ったことを、学級全体に発表する。</p>	<p>・サンプルとなる漫画作品を大きく掲示できるように加工しておく。</p> <p>・グループごとに好きな漫画作品を用意させておき、作品の分析をさせる。</p> <p>・発表の際は、新たな「まんがの方法」と「効果」を関連付けたものとなっているか確認させる。</p> <p>☆読み取った「まんがの方法」から応用して、新たに生み出され続けている「方法」と「効果」について分析することができたか。（読</p>

		む：話し合い) ☆「まんがの方法」と「効果」を関連付け、筋道立ててわかりやすく説明することができたか。(話す聞く：発表)
8	○自分の好きな漫画作品を分析し、「まんがの方法」と「効果」を説明する文を書く。	・あらかじめ自分の好きな漫画作品を用意させておく。 ・「まんがの方法」と「効果」を関連付けて説明した文になっているか確認させる。 ・書いた作文は一枚文集に掲載し、みんなで読み合うことを伝えておく。 ☆自分の好きな漫画作品を分析し、「まんがの方法」と「効果」を説明する文を書くことができたか。(書く：作文)

第二教材『おもしろさのひみつをさがろう』

時間	学習内容と活動	教師の支援（・） 評価規準（☆）
9 ・ 10	○「身近にあるおもしろさのひみつ」をテーマに、グループごとに探究するものについて話し合う。 ○探究テーマにそって、取り組みの計画や、資料収集のめどを立てる。	・ワークシートを用意し、活動計画を立てやすいようにする。 ・授業内で行う作業と授業外で行う作業を確認させ、作業の進行や分担の見通しを持たせる。 ・資料の集め方や調査の方法など、相談ののったりヒントを与えたりする。 ☆進んでテーマについて考え、学習の計画を立てようとしているか。(関心：観察・ワークシート)
11 ・ 12 ・ 13	○必要な資料を図書やインターネットなどを使って集める。 ○集めた資料を選別・整理する。 ○グループの人と協力して発表内容をまとめ、言いたいことを的確に把握する。 ○発表の効果を考えて発表資料を作成する。	・資料を確保した際に必要な事柄をメモしたり付箋紙を貼ったりして、資料を控えておくことを事前に伝えておく。 ・グループで集めた資料の選別や整理をし、話し合いながら発表内容をまとめさせる。 ・グループで分担し、効果的な発表になるよう資料の準備を進めさせる。 ☆必要な事柄をメモしたり、発表の要点をまとめたりすることができたか。(書く：メモ・発表資料) ☆テーマに合った資料から、必要な事柄を読み取ることができたか。(読む：メモ)
14	○「おもしろさのひみつ」発表会を開く。 ○互いの発表を、考えや意見の中心をとらえながら聞き合う。	・事前に発表の段取りや手順を確認しておく。 ・相互評価カードを用意し、発表のよいところや改善点、アドバイスなどを記入させる。また、自分の発表についてもふり返らせる。 ☆進んで発表会に参加し、友達の発表について意見や助言をしようとしていたか。(関心：観察) ☆調べたことについて、要点をおさえ、わかりやすく発表していたか。(話す聞く：発表)

5 本時の指導（7／14）

（1）目標

- 「まんがの方法」と「効果」を関連付け、筋道立ててわかりやすく説明することができる。
（話すこと・聞くこと）

- 読み取った「まんがの方法」から応用して、新たに生み出され続けている「方法」と「効果」について分析することができる。（読むこと）

（2）展開

過程目標 (時配)	学習活動と内容	形態	指導上の留意点 ○支援 ◎評価 ●B規準に達しなかった児童への手立て	資料等
前時の学習を振り返る。 (5分) 学習問題がわかる。 (2分)	<p>1. 筆者の投げかけた課題について振り返る。</p> <p>【七つの方法と効果】</p> <p>①コマ—読む順番のおおよそのきまりがある、物語の展開に重要</p> <p>②せりふ（言葉）—フキダシの中に登場人物のせりふ</p> <p>③手書きの文字—強調やはく力</p> <p>④人物のえがき方—要素の強調、人物の表情</p> <p>⑤物語の進行の仕方—省略表現、コマとコマの間の展開を想像</p> <p>⑥背景の線—はげしい動き、ふん囲気、心の動き</p> <p>⑦ナレーターの語り—物語の進行、人物の気持ちを説明</p> <p>2. 本時の学習問題を確認する。</p>	一斉	<p>○これまでにまとめた「まんがの方法」と「効果」について、ワークシートで振り返らせる。</p> <p>○⑮⑯段落を音読し、「ほんの一部にすぎません。新たに生み出され続けているのです。」という筆者の投げかけを確認する。</p> <p>○自分たちで新しい「まんがの方法」を発見することを伝え、学習への意欲付けをする。</p>	ワークシート
課題について話し合うことができる。 (10分)	<p>3. 新たに生み出され続けている「まんがの方法」と「効果」について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「七つの方法」のうちの一つが使われている。 ・フキダシの「効果」はいろいろありそうだ。 ・背景にある記号も「まんがの方法」なのではないか。 	一斉	<p>○サンプルとなる漫画作品を拡大して掲示する。</p> <p>○これまでに読み取った「方法」から分析してみてもよいことを伝える。</p> <p>○発見した「方法」が漫画作品のどの部分を指しているのかわかるように、丸で囲んだり矢印で示したりする。</p> <p>○その「方法」がどのような「効果」を生んでいるのか考えさせる。</p> <p>○なかなか「方法」が探し出せない</p>	拡大した漫画作品

新たに生み出され続けている「まんがの方法」を発見しよう。

<p>課題について分析することができる。 (13分)</p>	<p>4. 新たに生み出され続けている「まんがの方法」と「効果」について分析する。 【作品例】 ・『メジャー』 手を描かない—すごい勢いを表現している ・『名探偵コナン』 フキダシの形の違い—登場人物が話していることとと思っていることを区別している</p>	<p>グループ</p>	<p>児童がいるようであれば、周囲の友達と話し合う時間をとる。</p> <p>○あらかじめグループごとに分析する漫画作品（1作品）を用意させておく。可能であれば、作品を拡大コピーしておく。</p> <p>○発見した「方法」がどの部分かわかるように、漫画作品に書き込みをさせたり付箋紙をつけさせたりする。</p> <p>○発見した「まんがの方法」と「効果」を、ワークシートにまとめさせる。</p> <p>◎読み取った「まんがの方法」から応用して、新たに生み出され続けている「方法」と「効果」について分析することができたか。(読む：話し合い)</p> <p>●「方法」が探し出せない児童には、どの部分がおもしろいかを指摘させ、そこにどんな「方法」があるのか考えさせるようにする。</p>	<p>グループで用意した漫画作品 付箋紙 ワークシート</p>
<p>考えを発表することができる。 (12分)</p>	<p>5. 分析して発見したことを発表し合う。 ・背景にあるマークが描かれている。それは、その場の雰囲気表現している。 ・物語の途中に内容についての解説がある。解説があると、わかりやすいし勉強にもなる。</p>	<p>一斉</p>	<p>○グループの中の一人に、分析して発見したことを発表させる。</p> <p>○「方法」と「効果」を関連付けたものであるか意識して説明させるようにする。</p> <p>◎「まんがの方法」と「効果」を関連付け、筋道立ててわかりやすく説明することができたか。(話す聞く：発表)</p> <p>●説明がうまくできないようであれば、漫画作品のどの部分に「まんがの方法」が使われているのか具体的に示させる。</p>	<p>グループで用意した漫画作品</p>
<p>本時の学習を振り返る。 (3分)</p>	<p>6. 本時の学習を振り返り、学習の感想を話す。 ・七つの方法のほかにもいろいろな方法が見つかって楽しかった。 ・〇〇さんの発表は、方法と効果をわかりやすく説明していた。 ・今度は自分の好きな作品の「まんがの方法」を調べてみたい。</p>	<p>一斉</p>	<p>○本時の学習で自分や友達のよかったところや感じたことなどを振り返らせ、互いに称賛し合うようにする。</p> <p>○今度は各自で自分の好きな漫画作品を分析することを伝え、次時の学習への意欲を持続させるようにする。</p>	